



町 の地域おこし協力隊へ応募し、7月からNPO法人にぎわいネットワークで、同ネットワークのホームページ作りやワンストップサービスの仕事を手伝っています。
洞爺湖地域おこし協力隊は、地域協力活動に従事し、定住・



町の活性化を推進 する洞爺湖地域 おこし協力隊員

安嶋 理人さん(温泉8区・35歳)

定着も見えながら地域の活性化に貢献してもらう目的で、総務省の支援を受けて創設されました。

京都出身で、映画「幸せのパン」を見て、洞爺湖町に興味を抱き、洞爺湖町の活性化に役に立てればという思いを胸にやってきました。

「本州の方ではまだまだ洞爺湖は知られていないので、認知度を高めていきたい」と話し、「宿泊を含めての新たなイベントや洞爺湖のプロモーションビデオの製作などもやってみたい」と意気込んでいます。

「人が温かく迎えてくれる」とこの町が気に入って、将来は、任期が終わった後も「何か起業して、洞爺湖町に定住していきたい」とすっかり洞爺湖に魅了されています。

平成26年度 地方教育行政功労者表彰



受賞した蓮井 勇さん

前 教育委員長の蓮井 勇さんが平成26年度地方教育行政功労者表彰を受賞しました。

10月30日、洞爺総合センターで伝達式が行われ、綱嶋教育長

から賞状と記念品が授与されました。

蓮井さんは、平成12年に旧洞爺村教育委員長に任命され、今年3月に洞爺湖町教育委員長を退職するまで、地域の教育行政の発展に貢献してきました。
「受賞に値するかはなはだ疑問ですが、教育長をはじめ皆さんのご努力のおかげでこの賞が受賞できたと思います」と謙虚に喜びの言葉を語りました。

伏見橋崩落 町道通行止め

10月7日の午前、町内伏見と豊浦町大和を結ぶ町道成香15号線の豊浦町寄りにある伏見橋が崩落している状態で発見されました。

伏見橋は、全長49.5㍍で、両端に鉄筋コンクリート製の橋台が2基と橋を支えるための中央部に橋脚1基が配置されていました。

当日は、この南側にある高さ7㍍の橋台が倒れ沢側に落ちていました。

この橋は、平成10年12月に広域農道として北海道が建設し、その後当時の洞爺村に移管。平成24年9月に橋梁の長寿命化計画による点検を実施し、その時異常はありませんでした。

町では、北海道と連携して原因の究明を進めており、町道は通行止めになっています。同時に復旧の見通しについても、まだ未定です。

本線を利用する皆さんには、ご不便をおかけしますが、道道97号豊浦京極線や道道285号豊浦洞爺線への迂回をお願いします。



崩落した伏見橋

広 告